

穴粟市下水道事業経営戦略(素案) 修正箇所一覧

No	箇所	指摘事項	
1	P.1 12 行目	素案	下水道使用料も減少傾向で推移
		修正案	使用料収入も減少傾向で推移
2	P.4 図2-1	素案	
		修正案	『計画平面図』を削除する
3	P.9 5行目・8行目	素案	下水道使用料
		修正案	使用料収入
4	P.9 15行目	素案	現状、経費回収率は 94.9%と 100%を下回っていることから
		修正案	現状、経費回収率は 94.9%となっており、100%を下回っていることから
5	P.13 推計	素案	法定耐用年数に基づき時間計画的に改築・更新を行うと初年度やピーク時に膨大な更新費を要することとなります。これらの平準化や点検・調査結果に基づく効果的な修繕と更新を行うことにより更新需要の平準化を図る必要があります。
		修正案	法定耐用年数に基づき時間計画的に改築・更新を行うと初年度やピーク時に膨大な更新費用を要することから、施設の点検・調査を実施し、その結果に基づく効果的な修繕と更新を行い、更新需要の平準化を図る必要があります。
6	P.13 課題	素案	法定耐用年数に基づく単純更新の場合、施設の供用開始時期の偏りに伴い更新費用も偏ってしまいます。このため、現状で法定耐用年数を超過している施設の点検・調査や将来の膨大な改築・更新需要量の平準化を見越した計画的な更新計画が必要となっています。
		修正案	法定耐用年数に基づく単純更新の場合、施設の供用開始時期の偏りに伴い更新費用も偏ってしまいます。このため、現状で法定耐用年数を超過している施設の点検・調査結果を元に、将来における膨大かつ突出する更新需要を抑制するための計画的な更新プランを確立し、更新事業費の平準化を図る必要があります
7	P.14 図 2-7	素案	事務職員
		修正案	会計年度任用職員
8	P.19 4 行目	素案	使用料収入は減少傾向を示していることから、経費回収率は減少してきていることから、
		修正案	使用料収入の減少に伴い、経費回収率は減少してきていることから、
9	P.20(修正前) 分布グラフ	素案	
		修正案	分布図を削除
10	P.21 2番目の表	素案	一方で技術承継を適切行なうことで技術の空洞化を防ぐ
		修正案	一方で技術承継を適切に行なうことで技術の空洞化を防ぐ
11	P.26 図3-1	素案	事務職員
		修正案	会計年度任用職員
12	P.27 更新需要グラフ	素案	
		修正案	左右のグラフを一つにして見やすく修正
13	P.28 図 3-2	素案	供給単価
		修正案	使用料単価

No	箇所	指摘事項	
14	P.28	素案	約20%の料金改定を2回実施することで、経費回収率が100%を越えます。
		修正案	経費回収率100%を目標に経営戦略策定後の令和8年度までに下水道使用料改定を進めます。また、経営戦略見直し時期である令和11～12年度には再び経費回収率が悪化することが予想されることから、見直しの時点で改めて検討を行い、下水道使用料改定の判断を行います。
15	P.29 収入増加	素案	このような検討を進め、さらなる収入増加の取り組みを検討していきます。
		修正案	今後も情報収集に努め、さらなる収入増加の取り組みを検討していきます。
16	P.29 不明水対策目標	素案	管内カメラ調査の実施と修繕・改築により有収率の向上を目指します。
		修正案	定期的な管内カメラ調査と修繕・改築を継続して実施します。
17	P.32 3行目	素案	令和10年度までに見直しを行うとともに、
		修正案	令和12年度までに中間評価を行うとともに